

チュニジア産オリーブウッド製品について 知ってもらいたい 3つのこと

1 チュニジアはオリーブの名産地

オリーブで有名な国というと、イタリアやスペインを思い浮かべる人が多いかもしれません。しかし、アフリカ大陸の北部に位置するチュニジア共和国も世界有数のオリーブの名産地です。チュニジアは農地面積の三分の一がオリーブ畑。紀元前からオリーブ栽培の伝統が受け継がれており、いまでは国を代表する産業のひとつとなっています。



2 固有の環境が生む高い品質

チュニジアは北東部が地中海、南端がサハラ砂漠に面しているというユニークな地形。国内でも地域によって気候が異なり、北部は温暖な地中海性気候、中部と南部は乾燥した大陸性気候～砂漠性気候です。前者がオリーブ栽培に適しているのはもちろんですが、厳しい環境の後者も最適。そのため、チュニジア産オリーブは非常に高い品質で知られています。



3 役割を終えた樹木を使用するエシカルな製品

このたびご紹介するオリーブウッド製品を生産しているのは、チュニジア北東部の町、Menzel Kamel に拠点を構える Méditerroir 社。自社のオリーブ農園を保有し、オーガニック認証を受けた高品質なオリーブオイルをヨーロッパやアメリカなど、世界各国に輸出しています。

そんな Méditerroir 社のオリーブウッド製品は、もうオリーブの実をつけなくなったり、何らかの理由で伐採が必要になった樹木を使用しています。すべて熟練の職人によるハンドメイドで、オリーブの幹を大胆にくり抜いて作られる製品は非常に贅沢。しかし同時に、オリーブ農園での役割を終えた樹木を使っているため、自然の恵みを無駄にしないエシカルな商品でもあるのです。

